

## 質疑・回答書

告示番号		件 名	(仮称)豊中市立北校建設工事、(仮称)豊中市南部コラボセンター建設工事
No	質疑事項	回 答	
	〈共通〉		
1	計画敷地に汚染土は無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	事前調査において、大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく管理有害物質が、大阪湾広域臨海環境整備センターの受入基準を超過しているものではありませんでした。	
	〈構造 共通〉		
2	特記無き限り、柱中子筋はタガ型と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (SN-017他)	図面番号SN-017【北校舎】柱リスト(1)等に記載の柱の中子筋については、フープと同様に溶接閉鎖型とします。	

No	質疑事項	回 答
3	<p>断面詳細図(3)でピット内小梁の天端レベルがスラブ天端と同レベルになっております。特記無き限り、小梁(B梁)の天端レベルは取付くスラブの天端レベルと同レベルと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-106、SN-002)</p>	<p>小梁天端レベルは取合うスラブ天端レベルの最も低いレベルに合わせるものとします。</p>
4	<p>床下防湿層の範囲において、図示とありますが、記載なければ建屋内土間下と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-004)</p>	<p>床下防湿層の範囲において、記載なければ建屋内土間下とします。</p>
5	<p>梁貫通補強要領において、人通口は在来補強、他スリーブはダイヤレンNSによる既製品補強と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (SN-28・SN-033他)</p>	<p>図面番号SN-033・034【北校舎】梁貫通スリーブ数量表(1)(2)のとおり、人通孔もダイヤレンNSによる補強とします。</p>
6	<p>杭リストで、工法が2種類ありますが、いずれの工法を採用しても宜しいでしょうか。御指示ください。 (SN-001、001A、SS-001、001A、SA-001、001A、SK-001、001A、SC-001、001A)</p>	<p>杭についてはHybridニーディング工法及びHyper-MEGA工法のいずれの工法を採用してもかまいません。</p>
	<p>〈構造 北校舎棟〉</p>	

No	質疑事項	回 答
7	<p>機械式定着板の適用範囲は地中梁リストに記載の※印付地中梁符号のみと考えて宜しいでしょうか。その他に適用範囲がありましたら併せて御指示下さい。 (SN-015・016他)</p>	<p>機械式定着板の適用範囲は図面番号SN-015・016【北校舎】地中梁リスト(1)(2)に記載の※印付地中梁符号のみとなります。</p>
8	<p>機械式継手の適用範囲はPC梁詳細図に記載のPC緊張後施工範囲のみと考えて宜しいでしょうか。その他に適用範囲がありましたら併せて御指示下さい。 (SN-042)</p>	<p>機械式継手の適用範囲は図面番号SN-042【北校舎】PC梁詳細図に記載のPC緊張後施工範囲に加えて、緊張端定着と干渉する大梁主筋が適用箇所となります。</p>
9	<p>1階伏図でN1-5400/NE-NG間のSCn1に礎柱の様な図示がありますが、断面寸法・配筋要領等が不明です。FCn1に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (SN-002・024)</p>	<p>図面番号SN-002【北校舎】1階伏図・2階伏図に記載のSCn1の断面寸法・配筋要領等については、図面番号SN-024【北校舎】片持ち梁・小梁リスト(2)・壁・スラブリストに記載のFCn1と同様とします。</p>
10	<p>上記質疑のSCn1について、礎柱天端～スラブ天端迄の柱根巻の配筋要領が不明です。主筋8-D16、フープ筋D13@100と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (SN-002)</p>	<p>質疑No.9の図面番号SN-002【北校舎】1階伏図・2階伏図に記載のSCn1について、礎柱天端～スラブ天端迄の柱根巻の配筋は主筋8-D16、フープ筋D13@100となります。</p>
11	<p>人通孔補強において、FGn1Bの補強要領が不明です。補強要領を御指示下さい。 (SN-001～002、SN-028)</p>	<p>FGn1Bの補強スリーブはIV-3R-4枚とします。</p>

No	質疑事項	回 答
12	土間コンクリート下地業は、矩計図より砕石t100と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-104~110)	土間コンクリート下地業は、図面番号A-104~110【北校】断面詳細図(1)~(7)より砕石t100とします。
	〈構造 南校舎棟〉	
13	機械式定着板の適用範囲は地中梁リストに記載の※印付地中梁符号のみと考えて宜しいでしょうか。その他に適用範囲がありましたら併せて御指示下さい。 (SS-022・023)	機械式定着板の適用範囲は図面番号SS-022・023【南校舎】地中梁リスト(1)(2)に記載の※印付地中梁符号及び軸組図に示す○印とします。
14	機械式継手の適用範囲はPC梁詳細図に記載のPC緊張後施工範囲のみと考えて宜しいでしょうか。その他に適用範囲がありましたら併せて御指示下さい。 (SS-052)	機械式継手の適用範囲は図面番号SS-052【南校舎】PC梁詳細図に記載のPC緊張後施工範囲及び、緊張端定着と干渉する大梁主筋が適用箇所となります。
15	土間コンクリート下地業は、矩計図より砕石t100と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-104~110)	土間コンクリート下地業は、図面番号A-104~110【北校】断面詳細図(1)~(7)より砕石t100とします。

No	質疑事項	回 答
	<p style="text-align: center;">〈構造 大アリーナ棟〉</p>	
16	<p>定着板使用範囲において、※印付の梁の定着部(上下全本数)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (SA-009)</p>	<p>定着板使用範囲は図面番号SA-009【大アリーナ】地中梁リスト内※印付の梁の定着部(上下全本数)となります。</p>
	<p style="text-align: center;">〈構造 放課後こどもクラブ室棟〉</p>	
17	<p>雑配筋図に増打配筋要領図がありますが、適用箇所が不明です。屋上外周(四周全て)に見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (SK-006)</p>	<p>図面番号SK-006【放課後こどもクラブ室】架構配筋図・雑配筋図の増打配筋要領図適用箇所は屋上外周(四周全て)となります。</p>
18	<p>A-104図 放課後こどもクラブ棟の屋外広場に防球ネットがありますが、支柱等の下地鉄骨が必要な場合、部材・配置等の構造図を御指示ください。</p>	<p>別図1_「テニスコート防球ネット」によるものとします。</p>

No	質疑事項	回 答
	<構造 南部コラボセンター棟>	
19	PC梁キープランの緊張後施工の小梁主筋の継手について、詳細が不明です。機械式継手又は、ガス圧接継手でしょうか。御指示下さい。 (SC-042)	あと施工範囲のスラブおよび小梁の接続部は機械式継手を適用します。また、緊張端定着と干渉する大梁主筋も適用箇所となります。
20	地中梁リストの特記事項2 定着板の使用を可とありますが、基礎大梁のみ使用可と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (SC-017)	図面番号SC-017【南部コラボセンター】地中梁リスト(2)の特記事項2 機械式定着板の適用箇所は基礎大梁及び図面番号SC-007～012【南部コラボセンター】軸組図(1)～(6)に示す○印となります。
	<外部仕上げ 共通>	
21	地下外防水について、断面詳細にはK防水の記載がありますが、参考数量書にはありません。断面詳細を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-104～110)	地下外防水については図面番号A-104～110【北校】断面詳細(1)～(7)のとおりです。

No	質疑事項	回 答
	<外部仕上げ 北校舎棟>	
22	屋上目隠しルーバーのH寸法について、部分詳細にはH=3000とありますが、階段詳細及び構造図にはH=2000と異なります。参考数量書よりH=2000を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-047・115・SN-005)	図面番号A-115【北校】階段詳細図(5)、図面番号SN-005【北校舎】R階設備架台伏図・詳細図記載を正とし、屋上目隠しルーバーのH寸法は基礎天端から鉄骨上端までとし、H2,200とします。
23	屋上手摺関係について、メンテナンス手摺・設備架台手摺・メンテナンス階段手摺がありますが、其々範囲が不明瞭です。詳細範囲を御指示下さい。 (A-034)	図面番号A-046【共通】外部共通部分詳細図(1)に記載の【DT-e10】設備架台手摺は、図面番号A-034【共通】R階平面図に示す室外機スペースおよびキュービクル置場まわりの点検歩廊床に沿って設置します。 図面番号A-047【共通】外部共通部分詳細図(2)に記載の【DT-e17】メンテナンス階段手摺は、ケーブルラックとの交差部および南校舎棟と北校舎棟をまたぐ階段に設置します。それ以外は【DT-e14】手摺とします。
24	プールサイドにて、外周廻りにグレーチング付の排水溝がありますが、参考数量書にはありません。ステンレス製 細目グレーチング W=250で見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-107)	図面番号A-107【北校】断面詳細図(4)に記載のプールサイドの外周廻りの排水溝は、図面番号A-029【共通】外部仕上表に記載の樹脂製グレーチングとし、W200とします。
25	プールサイド目隠しフェンスのH寸法について、立面にはH=2000、断面詳細にはH=1500、部分詳細にはH=1535と異なります。参考数量書よりH=1500を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-037・107・231/DT-e101)	プールサイド目隠しフェンスのH寸法は1,500とします。

No	質疑事項	回 答
26	<p>プールサイドにドレイン*5ヶ所の記載がありますが、下部のプールピットに落とすと考えて宜しいでしょうか。また断面詳細にプールピットにもドレインの記載があります。位置的には上部プールサイドと同位置に設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-033・106)</p>	<p>プールサイドのドレインは下部のプールピットに落とします。 またプールピットのドレインの位置については上部プールサイドのドレインと同位置とします。</p>
27	<p>プール下部天井(プールサイド上裏)について、断面詳細に仕上の指示がありませんが、仕上は不要(型枠外しのまま)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-106)</p>	<p>図面番号A-106【北校】断面詳細図(3)に記載のプール下部天井(プールサイド上裏)はコンクリート打放し仕上げとします。</p>
	<p style="text-align: center;">＜外部仕上げ 南校舎棟＞</p>	
28	<p>屋上目隠しルーバーのH寸法について、部分詳細にはH=3000とありますが、階段詳細及び構造図にはH=2000と異なります。参考数量書よりH=2000を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-047・115・SN-005)</p>	<p>図面番号A-047【共通】外部共通部分詳細図(2)、図面番号SS-010【南校舎】R階設備架台詳細図記載のとおり、屋上目隠しルーバーのH寸法は3000とします。</p>
29	<p>屋上手摺関係について、メンテナンス手摺・設備架台手摺・メンテナンス階段手摺がありますが、其々範囲が不明瞭です。詳細範囲を御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-046【共通】外部共通部分詳細図(1)に記載の【DT-e10】設備架台手摺は、図面番号A-034【共通】R階平面図に示す室外機スペースおよびキュービクル置場まわりの点検歩廊床に沿って設置します。 図面番号A-047【共通】外部共通部分詳細図(2)に記載の【DT-e17】メンテナンス階段手摺は、ケーブルラックとの交差部および南校舎棟と北校舎棟をまたぐ階段に設置します。それ以外は【DT-e14】手摺とします。</p>



No	質疑事項	回 答
	<内部仕上げ 共通>	
30	便所等壁耐水PBを使用する部屋の耐火間仕切面は耐水PB増張と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-101・051)	図面番号A-051【共通】外部共通部分詳細図(1)便所等壁耐水PBを使用する部屋の耐火間仕切面は耐水PB増張とします。
	<内部仕上げ 北校舎棟>	
31	北校2F音楽室(1)壁仕上の有孔シ合板の厚みについて、仕上表でt=9.0となっています。部分詳細図では、t=9.0は、小アリーナ・多目的室1の部屋と限定されています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-051・102)	北校2F音楽室(1)壁仕上の有孔シ合板の厚みはt=9.0とします。
32	各教室掲示壁の詳細が不明です。掲示板クロス+合板t=5.5+石膏ボード(壁符号による)、周囲枠 スプルス 40*30(OSCL塗)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-167)	図面番号A-167【北校】図工室、図工準備室詳細図について、各教室掲示壁の詳細は掲示板クロス+合板t5.5+石膏ボード(壁符号による)、周囲枠はナラ集成材40*30(OSCL塗)とします。

No	質疑事項	回 答
33	北校2F男子更衣室の壁符号について、W10の壁符号の範囲があります。W10は吸音壁の為、仕上がこの面のみ異なります。W01(フカシ壁)に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-168)	北校2F男子更衣室の壁符号についてはW01(フカシ壁)とします。
	〈内部仕上げ 南校舎棟〉	
34	普通教室 a展開図記載のCr取付板+Prの記載がありますが、Cr取付板の仕様・詳細を御指示下さい。(A-131)	図面番号A-131【北校】普通教室詳細図に記載のCr取付板は、ラワンt30×W140とします。
35	外壁面 現場発泡ウレタンフォームの厚みですが、特記仕様書ではt=35 断熱範囲図ではt=25と相違します。t=25を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-009・056)	外壁面 現場発泡ウレタンフォームの厚みは、図面番号A-056【共通】断熱範囲図〈凡例〉のとおり、壁はt=25とします。
	〈建具 北校舎棟〉	

No	質疑事項	回 答
36	<p>A-008・206  【共通】特記仕様書アルミ製建具の屋内建具の表面処理(BB-2種)と、【北校】建具特記での表面処理(B-2種)が食い違っておりますが、【共通】特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>アルミ製建具の屋内建具の表面処理はBB-2種とします。</p>
37	<p>A-206・211 図他  外部アルミ製建具のガラス共通事項で『出入口ガラスT8部は、飛防(フィルム)付き』とありますが、出入口ガラスとは、建具表備考欄にて指示のある出入口扉を指すものとし、AW102の掃出し窓部のように特に指示のない出入口扉のガラスについては、ST-5(飛散防止フィルム無し)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>出入口ガラスとは、建具表備考欄にて指示のある出入口扉を指すものとし、指示のない出入口扉のガラスについては、ST-5(飛散防止フィルム無し)とします。</p>
38	<p>A-212 図他  AW120のような建具形状で、備考欄に『腰部T8+飛防』とある場合の腰部とはH2100部全面を指すと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AW120のような建具形状において、備考欄に『腰部T8+飛防』とある場合の腰部とはH2100部全面を指します。</p>
39	<p>A-212 図他  AW129のような建具形状で、備考欄に『腰部T8+飛防』とある場合の腰部とはH750部+出入口扉全面を指すと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AW129のような建具形状で、備考欄に『腰部T8+飛防』とある場合の腰部とはH750部+出入口扉全面を指します。</p>
40	<p>A-213 図  AW144及びAW145のガラス仕様が、備考欄にて『ST8+飛防』とありますが、同形状の他の建具同様に、『欄間ST4、腰部T8+飛防』に読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AW144及びAW145のガラス仕様は『欄間ST4、腰部T8+飛防』とします。</p>

No	質疑事項	回 答
41	<p>A-206・216・332図 AD108及びAD109のガラス仕様が、建具特記[ST-5]と折戸詳細図[T5]で異なります。折戸詳細図[T5+飛散防止フィルム]が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AD108及びAD109のガラス仕様は[T5+飛散防止フィルム]とします。</p>
42	<p>A-217・231図 ACW101の内、NB-NC間の扉仕様が姿図では強化ガラス扉のようにも見えますが、ACW詳細図より框扉と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>ACW101の内、NB-NC間の扉仕様は框扉とします。</p>
43	<p>A-217・231図 ACW101の内、一部の腰窓部にガラスフィルム貼とありますが、当該部分については、飛散防止フィルムをガラスフィルム貼に読替えると考えて宜しいでしょうか。又、同ガラスフィルムの参考メーカー・品番を併せて御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-217【北校】建具表(7)(外部建具)ACW101の飛散防止フィルムはガラスフィルムに読み替えることとします。参考メーカー・品番は、図面番号A-011【共通特記仕様書(8)に記載のグラデーションフィルムとし、住友3M:ファサラ SH2FGTG同等品以上とします。</p>
44	<p>A-106・217図 ACW101の内、矩計図で調理室部にアルポリック裏打ちとありますが、該当範囲は調理室腰壁(建具姿図ガラスフィルム範囲)のみと考えて宜しいでしょうか。又、同アルポリックの厚み・表面仕様及び参考メーカー・品番を併せて御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-106【北校】断面詳細図(3)「裏打ち:アルポリック」の範囲は調理室腰壁(建具姿図ガラスフィルム範囲)のみとします。アルポリックの仕様は、三菱ケミカル(株)アルポリック Pcseries t3.0同等品以上とします。</p>
45	<p>A-213図 SD117の仕様は、防火設備・耐熱強化t6.0のメーカー認定品と思われませんが、備考欄に記載の認定番号EA-0386-1(2)は『耐熱合せガラス入り特定防火設備(欄間無し親子/両開き)』の認定番号で同建具の仕様とは異なるように思われます。防火設備・耐熱強化ガラスt6.0を優先と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>SD117の仕様は、認定番号EA-0386-1(2)「耐熱合せガラス入り特定防火設備(欄間無し親子/両開き)」とします。</p>

No	質疑事項	回 答
46	<p>A-213図 上記回答にて、認定番号『耐熱合せガラス入り特定防火設備』を優先する場合、下記のように読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>防火設備 ⇒ 特定防火設備 耐熱強化ガラスt6.0 ⇒ 耐熱結晶化合物ガラスt8.6 EA-0386-1(2) ⇒ EA-0386-1(1)</p>	<p>認定番号EA-0386-1(2)「耐熱合せガラス入り特定防火設備(欄間無し親子/両開き)」をとした場合、下記のように読替えます。</p> <p>防火設備 ⇒ 特定防火設備 耐熱強化ガラスt6.0 ⇒ 耐熱結晶化合物ガラスt8.6 EA-0386-1(2) ⇒ EA-0386-1(1)</p>
47	<p>A-206・226図 SP[スクールパーティション]のガラス仕様は、206図共通事項よりST-4とし、飛散防止フィルム貼は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>SP[スクールパーティション]のガラス仕様はST-4とし、飛散防止フィルム貼は不要とします。</p>
48	<p>A-208・220 SD5bについて、ガリを設置する箇所数が建具案内図(3)と建具表(2)で異なりますが、建具案内図を正と考えて宜しいでしょうか。また、上記建具のガリの仕様が不明ですが、W600*H200 開口率50%と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>SD5bについて、ガリを設置する箇所数は建具案内図を正とします。</p> <p>またガリの仕様はW600*H200 開口率50%とします。</p>
49	<p>A-008図 北校では、自動ドアは適用されないと考えて宜しいでしょうか。適用の場合は、自動ドアの仕様及び該当建具符号を併せて御指示下さい。</p>	<p>北校で自動ドアはありません。</p>
50	<p>A-213 AW143の認定番号EA-2226-1はEB-2226-1と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AW143の認定番号EA-2226-1はEB-2226-1とします。</p>

No	質疑事項	回 答									
51	<p>A-206 内部AGの仕様で不明な点がありますが、以下の仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>仕上:BB-2種 枠見込:70 脱着がリ(外はずし式) 防鳥網 チャンバーBOX留付用ダ*外接続枠は不要</p>	<p>内部AGの仕様は、以下の仕様とします。</p> <p>仕上:BB-2種 枠見込:70 脱着がリ(外はずし式) 防鳥網 チャンバーBOX留付用ダ*外接続枠は不要</p>									
52	<p>A-221 2F音楽室に取り付くLSD-1bについて、ガリの詳細が不明ですが、LSD3と同じと考えて宜しいでしょうか。異なる場合は御指示下さい。</p>	<p>2F音楽室に取り付くLSD-1bのガリの詳細についてはLSD3と同様とします。</p>									
53	<p>A-211図 下記の建具について、建具表の名称が姿図と異なるように思われますが姿図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <table border="0" data-bbox="383 810 808 906"> <tr> <td></td> <td>建具表</td> <td>姿図</td> </tr> <tr> <td>AW109</td> <td>掃出し窓</td> <td>FIX窓</td> </tr> <tr> <td>AW174</td> <td>両開き扉</td> <td>FIX窓</td> </tr> </table>		建具表	姿図	AW109	掃出し窓	FIX窓	AW174	両開き扉	FIX窓	<p>AW109、AW174とも姿図を正とします。</p>
	建具表	姿図									
AW109	掃出し窓	FIX窓									
AW174	両開き扉	FIX窓									
54	<p>A-213他 建具表と姿図で寸法が異なる建具が散見されますが、全て姿図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>建具表と姿図で寸法が異なる場合は全て姿図を正とします。</p>									
55	<p>A-206図 ステンレス建具(STD)の枠見込及び扉厚が不明です。御指示下さい。</p>	<p>ステンレス建具(STD)の枠見込は壁厚+20mm、扉厚は40mmとします。</p>									

No	質疑事項	回 答
56	PS-2の建具数量が建具表で26カ所ですが、建具案内図では23カ所(北校舎:5カ所、南校舎:18カ所)と相違しています。建具案内図に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-207~210・222)	PS-2の数量は、図面番号A-222【北校】建具表(12)(内部建具)に記載のとおり26箇所とし、図面番号A-207~210【北校】建具案内図(1)~(4)に記載のない箇所は監督職員の指示する箇所に設置するものとします。
57	SD-1aについて、建具表に特の記載がありますが、建具案内図では大アリーナ1階2カ所:特定防火設備無し、大アリーナ2階1カ所:特定防火設備有りと相違しています。2階のみ、耐火間仕切に設置のため、特定防火設備と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-194・195・208・209・220)	SD-1aについて、大アリーナ2階1カ所のみ特定防火設備とします。
58	LSD-1bについて、建具表で特定防火設備ですが、建具案内図では大アリーナ2階教官室以外は特定防火設備の記載がありません。建具表に倣い、すべて特定防火設備と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-207~210・221)	LSD-1bについて、大アリーナ2階教官室のみ特定防火設備とします。
59	SF-9の建具数量が、建具表で44カ所ですが、建具案内図は45カ所(北校舎:20カ所、南校舎:13カ所、大アリーナ:2カ所、放課後子どもクラブ:10カ所)と相違します。建具案内図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-207~210・225)	図面番号A-207~210【北校】建具案内図(1)~(4)(1階)~(4階)、図面番号A-125~130【北校】便所詳細図(1)~(6)に記載のとおり、北校舎21カ所+南校舎14カ所+大アリーナ6カ所+放課後子どもクラブ10カ所で、計51ヶ所とします。
	〈建具 南部コラホセンター棟〉	

No	質疑事項	回 答
60	<p>A-465.466.473図 LSD51aにおいて、建具表で17箇所と建具案内図では16箇所となり数量が異なります。3階相談室(7)～事務室(3)の建具をLSD51aとし、建具表の17箇所を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>3階相談室(7)～事務室(3)の建具をLSD51aとし建具表の17箇所を正とします。</p>
61	<p>A-465.466.473図 SD61a・61bについて、建具案内図-2階屋内階段(2)に記載されておりますが、建具表では斜線で削除されております。建具表を正とし、2階屋内階段にSD61a・61bは無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-465・466【南部コラボセンター】建具案内図(1)(2)を正とし、SD61a、SD61bはあるものとします。</p>
62	<p>A-465.470図 1階屋内階段(1)のEPS取合い部にSD206bがありますが、特防である必要が無いように思われます。PS50に読み替えるものとし、SD206bは2箇所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>特定防火設備性能は必要とし、SD-206bのままとします。ただし、屋内建具の仕様とします。</p>
63	<p>A-468.469図 アルミ建具に横棧がある場合、硝子は分割されるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>アルミ建具に横棧がある場合、硝子は分割されるものとします。</p>
64	<p>A-473図 LSD51aのガラスについて特定防火設備なので、型板ガラスt4を耐熱強化t6と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>特定防火設備のLSD51aのガラスは耐熱強化t6とします。</p>



No	質疑事項	回 答
65	<p>A-470図 飛散防止フィルムの適用範囲は、強化ガラス面(学校強化ガラスを除く)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>飛散防止フィルムの適用範囲は、強化ガラス面(学校強化ガラスを除く)とします。</p>
66	<p>A-470.472図 STDの欄間に取り付くガラスは、内部外部建具共にフロント6と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>STDの欄間に取り付くガラスは、内部外部建具共にフロント6とします。</p>
67	<p>A-468図 建具表のAW217において、建具番号が重複していますが先に書かれてある建具をAW217、後の建具をAW218と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-468【南部コラボセンター】建具表(2)(外部建具)のAW217において先に書かれてある建具をAW217、後の建具をAW218とします。</p>
68	<p>A-471図他 AW58のような建具形状で、備考欄に『腰部T8』とある場合の腰部とはH2100部全面を指すと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AW58のような建具形状で、備考欄に『腰部T8』とある場合の腰部とはH2100部全面を指します。</p>
69	<p>A-468図他 AW222fのような建具形状で、備考欄に『腰部ペアFL6+A6+T8』とある場合の腰部とはH750部+出入口扉全面を指すと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AW222fのような建具形状で、備考欄に『腰部ペアFL6+A6+T8』とある場合の腰部とはH750部+出入口扉全面を指します。</p>

No	質疑事項	回 答
70	<p>A-467.469図 AW204、AW208、AW239について、備考欄に排煙オペレーターの記載がありませんが、排煙窓付の建具のため、排煙オペレーターが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AW204、AW208、AW239について、備考欄に記載がありませんが排煙オペレーター付きとします。</p>
71	<p>A-4674.69図 備考欄に記載の排煙オペレーターについて、個数の記載がない場合、基本的に1個とし、AW201とAW205のみ2個必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>建具2台(1スパン)につき、1個を基本とします。AW-201、AW-205については、各1個ずつ見込むこととします。</p>
72	<p>A-468図 AW218について、名称が、欄間FIX付となっておりますが、姿図では欄間排煙窓付と思われます。姿図を正とし、排煙窓付と読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AW218について欄間FIXを正とします。</p>
73	<p>A-468図 上記が正の場合、AW218に排煙オペレーターが1個必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AW218に排煙オペレーターは不要とします。</p>
74	<p>A-469.510図 AD201のガラス種別について、建具表の備考欄に記載されてお りませんが、A510図に記載の内容を正とし、複層ガラス FL6+A6+T8と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>AD201のガラス種別について複層ガラス FL6+A6+T8とします。</p>

No	質疑事項	回 答
75	<p>A-469.510図  又、AD201の耐風圧、気密性、水密性の仕様は、510図を正とし、以下と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。  耐風圧:S-4 気密性:A-4 水密性:W-3</p>	<p>AD201の耐風圧、気密性、水密性の仕様は以下とします。  耐風圧:S-4 気密性:A-4 水密性:W-3</p>
76	<p>A-8図  アルミ製建具の特記に、網戸を後で設置できるようにレールは設置することとありますが、引き違い窓部にのみ適用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-008【共通】特記仕様書(5)の「網戸を後で設置できるようにレールは設置すること」は、北校のサッシに適用とし、レールを設置できる窓すべてとします。南部コラボセンターは、図面番号A-464【南部コラボセンター】建具共通事項のとおり本工事で網戸を設置とします。</p>
77	<p>A-8.464図  外部建具特記-AW(スライド系窓)に合成樹脂製網戸設置とありますが、A-8図を正とし、網戸は別途と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>南部コラボセンターは、図面番号A-464【南部コラボセンター】建具共通事項に記載されている通り、合成樹脂製網戸の設置を本工事に含むものとします。</p>
78	<p>A-464図  躯体クリープによる変形防止策が必要な建具は、上下をRC躯体に固定されたW3m超えの連窓サッシとありますが、アルミ製建具でW3mを超えている建具は全て適用されるものと考えて宜しいでしょうか。適用されないW3m超えの建具がある場合御指示下さい。</p>	<p>アルミ製建具でW3mを超えている建具は全て必要とします。</p>
79	<p>A-471図  AW50の姿図にパネルとありますが、アルミパネルt3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-471【南部コラボセンター】建具表(5)(内部建具)AW50のパネルは、三菱ケミカル アルポリックパネルt3.0 同等品以上とします。</p>

No	質疑事項	回 答
80	<p>A-464.478図 464図のACW共通事項に水切り:アルミ製D100とありますが、478図のACW詳細図には水切りが無いように思われます。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-478【南部コラボセンター】建具詳細図のとおりACWについて水切りは不要とします。</p>
81	<p>A-8.478図 ACWの性能について、「8図-特記事項」と「478図-ACW201縦断面詳細図」で内容に相違があります。詳細図に記載の内容を正とし、以下と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 耐風圧:2000Pa 気密性:A-4 水密性:W-5 遮音性:T-1 (※面内変形追従性と耐温度差性能は、特記事項に倣う)</p>	<p>ACWの性能については図面番号A-478【南部コラボセンター】建具詳細図に記載の内容を正とし、以下とします。 耐風圧:2000Pa 気密性:A-4 水密性:W-5 遮音性:T-1 (※面内変形追従性と耐温度差性能は、特記事項に倣う)</p>
82	<p>A-469図 ACW201のW寸法について、姿図W寸法と建具表W寸法に食い違いがあります。姿図のW寸法を正とし、W11265と読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>ACW201のW寸法について姿図のW寸法を正とし、W11265とします。</p>
83	<p>2階建具案内図 C5a-6/CG-H 図書館(1)のLSD-50eについて、建具表にありません。建具表(7)のLSD-50のことと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-465・473)</p>	<p>図面番号A-465【南部コラボセンター】建具案内図(1)2階 C5a-6/CG-H 図書館(1)のLSD-50eについては図面番号A-473【南部コラボセンター】建具表(7)(内部建具)のLSD-50とします。</p>
84	<p>建具表(7)にSD-51・55が各2種類ありますが、下記のように読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □建具表 上から1段目 左から1番目 SD-51→SD-50 □建具表 上から2段目 左から1番目 SD-55→SD-54 (A-473)</p>	<p>図面番号A-473【南部コラボセンター】建具表(7)(内部建具)において上から1段目・左から1番目の建具をSD-50とし、上から2段目・左から1番目の建具をSD-54とします。</p>

No	質疑事項	回 答
	以上	

豊中市総務部契約検査課 TEL 06-6858-2075・2076  
FAX 06-6858-7225  
E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp